

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB (DA423) (実践的教育科目)			担当教員	木下 一雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業の目的は、精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について具体的に学ぶことも重視する。							①⑤ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			□評価手段・方法	□評価	評価手段・方法	評価比率
専門力	精神保健福祉士養成課程の全プログラムを終えて、精神保健福祉士の専門性と倫理について説明することができる。			定期試験			45%
情報収集、分析力	精神障害者の歴史と動向に関する資料を集め、現場における課題について適切に指摘することができる。			第1回レポート			15%
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。			ディスカッション内容			10%
協働・課題解決力	精神障害者の人権について、グループで報告することができる。			グループ発表			15%
多様性理解力	精神科ソーシャルワークのアプローチについて説明することができる。			第2回レポート			20%
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は45%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、精神保健福祉士の養成課程の全プログラムに基づいて、自らの意見を正確に説明することができるかを評価する。2回のレポート30%では、精神保健福祉の歴史、および精神科ソーシャルワークのアプローチについて説明できているかを評価する。レポート課題は、第5・11回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、グループ発表15%、ディスカッション内容10%で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。							
授業の概要							
精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史について学び等などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。この授業は、精神保健福祉士養成課程の集大成であるため、全プログラムを総括しながら、展開する。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院でカウンセリングや医療相談、ソーシャルワークなどで精神科ソーシャルワークの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会(2017)『精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ(第6版)』へるす出版 参考書：なし 指定図書：チャールズ・A・ラップ(2014)『ストレングスマodel』田中英樹監訳、金剛出版							
授業外における学修及び学生に期待すること							
① 授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ② 出席は最低限のルールとする。 ③ 授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 障害者福祉の理念と精神障害者	授業の概要、進め方、評価等を確認 障害者福祉の理念について説明する。	予習：テキスト1-19を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
2	精神障害者の人権	精神障害者の人権について説明する。	予習：テキスト20-50を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
3	精神保健福祉士の専門性①	精神保健福祉士養成課程での成長を振り返り、精神保健福祉士の専門性について理解を深める。	予習：テキスト119-150を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
4	精神保健福祉士の専門性②	精神保健福祉士養成課程での成長を振り返り、精神保健福祉士の専門性について理解を深める。	予習：テキスト119-150を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
5	精神障害および精神障害者	精神障害および精神障害者について説明する。 第1回レポート課題を提示する。	予習：テキスト50-72を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
6	精神保健福祉の歴史と理念	精神保健福祉の歴史と理念について説明する。	予習：テキスト73-94を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
7	スーパーヴィジョンとコンサルテーション	スーパーヴィジョンとコンサルテーションについて説明する。	予習：テキスト220-231を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
8	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史①	欧米における精神保健福祉分野のソーシャルワーク発展の歴史について説明する。	予習：テキスト95-110を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
9	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史②	日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわりについて説明する。	予習：テキスト111-118を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
10	エコロジカルアプローチ①	エコロジカルアプローチについて説明する。	予習：テキスト配布資料を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
11	エコロジカルアプローチ①	エコロジカルアプローチについて説明する。 第2回レポート課題を提示する。	予習：テキスト配布資料を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
12	エコロジカルアプローチ②	エコロジカルアプローチについて説明する。	予習：テキスト配布資料を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
13	社会構成主義に基づくアプローチ①	社会構成主義に基づくアプローチについて説明する。	予習：テキスト配布資料を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
14	社会構成主義に基づくアプローチ②	社会構成主義に基づくアプローチについて説明する。	予習：テキスト配布資料を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
15	まとめ	後期の振り返り	予習：テキストの後期分を読んてくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
16	定期試験		